

項番	内容	令和元年度事業実施目標	令和元年度決算額(千円)	令和元年度取組実績内容	令和元年度取組実績具体的数値	評価	評価理由	令和2年度事業実施計画	令和2年度当初予算額(千円)	所管課	分類
5	お知らせを配布し、広報あしや特集号に掲載するなど、事業所等へ男女共同参画を周知	広報あしやに啓発ための記事を掲載する。	-	広報あしやに啓発記事を掲載したが、事業所等向けの記事は掲載できなかった。センター通信「ウィズ」を商工会女性部へ配布した。	商工会女性部へのセンター通信の配布：2回	B	広報あしやに事業所向けの記事は掲載できなかったが、新たに商工会女性部へセンター通信を配布することができたため。	広報あしや等広報によって事業所等への啓発を行う。	-	人権・男女共生課 (旧：男女共同参画推進課)	1：発展・充実
38	「女性に対する暴力をなくす運動」キャンペーンを実施	「女性に対する暴力をなくす運動」「児童虐待防止」「いじめ防止」の合同キャンペーンを実施する。	32	令和元年11月19日に、JR芦屋駅付近にて「女性に対する暴力をなくす運動」「児童虐待防止」「いじめ防止」の合同街頭キャンペーンを実施した。また市内高校の全3年生にデートDV等に関するチラシを配布した。	街頭キャンペーンにて啓発チラシ・グッズを500セットを配布。同時期に市内全高校の3年生(約900人)に学校を通じて厚生労働省作成の啓発チラシを配布。	B	女性に対する暴力について、芦屋警察や関連団体と合同で実施することにより、幅広い視点での啓発につながったが、より直接的かつ効果的な実施方法を検討する余地がある。	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、高校生へチラシを配布し、出張授業を行う等効果的な啓発方法の実施を検討する。	64	人権・男女共生課 (旧：男女共同参画推進課)	1：発展・充実
47	広報あしや特集号等による、男女共同参画の視点からのハラスメント防止への啓発	HP等でハラスメント防止の記事を掲載する。	-	具体的な取り組みを行っていない。		C	具体的な取り組みを行えなかった。	HP等でハラスメント防止に関する記事等を掲載する。	-	人権・男女共生課 (旧：男女共同参画推進課)	1：発展・充実
52	男女共同参画に関する市民意識調査や、職員意識調査を定期的に行い、調査結果を、国や兵庫県と比較して研究	市民・職員意識調査等の調査結果を国等と比較研究し、啓発に活用する。	-	具体的な取り組みを行っていない。		C	具体的な取り組みを行えなかった。	市民・職員意識調査等の調査結果を国等と比較研究し、啓発に活用するとともに、令和3年度実施の市民及び職員意識調査の参考とする。	-	人権・男女共生課 (旧：男女共同参画推進課)	1：発展・充実
96	女性委員比率40%を目標に積極的な男女共同参画推進	附属機関を開催するにあたり、引き続き女性委員の登用を行い、積極的な男女共同参画推進に向け、委員の性別、年齢、社会的な立場等に関わらず方針決定過程へ多様な意見を取り入れられるように努める。	-	附属機関を開催するにあたり、引き続き女性委員の登用を行い、積極的な男女共同参画推進に向け、委員の性別、年齢、社会的な立場等に関わらず方針決定過程へ多様な意見を取り入れられるように努めた。	平成31年4月1日時点の市附属機関における女性委員の割合は35.3%であった。	B	附属機関における女性委員の比率は目標値の40%以下であったが、前年度(35.1%)よりやや上昇したため。	附属機関を開催するにあたり、引き続き女性委員の登用を行い、積極的な男女共同参画推進に向け、委員の性別、年齢、社会的な立場等に関わらず方針決定過程へ多様な意見を取り入れられるように努める。	-	附属機関等所管課	1：発展・充実
103	多様な媒体を活用した様々な年代に向けた啓発と情報提供	facebookなどのSNSを利用した啓発など多様な媒体を使い、様々な年代に向けた取り組みを行う。	-	SNSを使った啓発や情報提供を行うことができなかった。ワーク・ライフ・バランスに関する講座の開催など個別の取り組みは行うことができた。		C	SNSを活用した啓発や情報提供を行うことができなかったため。	facebookなどのSNSを利用した啓発など多様な媒体を使い、様々な年代に向けた取り組みを行う。	-	人権・男女共生課 (旧：男女共同参画推進課)	1：発展・充実